

「書物・出版と社会変容」研究会 活動記録

- ・開催日・場所・報告者・報告タイトルなど。
- ・百二十二回まではバックナンバーを参照。

第二百二十三回 二〇一八年九月二十九日 一橋大学佐野書院

薄羽明梨 「幕末日本の情報流通と緒方洪庵―緒方洪庵の

書簡にみる医療活動と対外情報―」

久田行雄 「近世後期板本における書記体選択の様相―楷

書体漢字平仮名交じり文を中心に―」

第二百二十四回 二〇一八年十二月一日 一橋大学佐野書院

郭 南燕 「宣教師の日本語文学という新しい分野の開拓」

高橋章則 「歌川広重「魚尽」シリーズの成り立ち―俳諧

歌（狂歌）関連資料の時系列化が導き出すこ
と―」

（文責・鈴木淳世）